

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成27年11月5日 (2015.11.5)

【公開番号】特開2014-129580(P2014-129580A)

【公開日】平成26年7月10日 (2014.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2014-037

【出願番号】特願2012-288705(P2012-288705)

【国際特許分類】

C 2 2 C 9/00 (2006.01)

C 2 2 C 9/01 (2006.01)

C 2 2 C 9/05 (2006.01)

B 2 2 D 11/00 (2006.01)

C 2 3 C 14/34 (2006.01)

C 2 2 F 1/08 (2006.01)

C 2 2 F 1/00 (2006.01)

【 F I 】

C 2 2 C 9/00

C 2 2 C 9/01

C 2 2 C 9/05

B 2 2 D 11/00 F

C 2 3 C 14/34 A

C 2 2 F 1/08 A

C 2 2 F 1/00 6 0 4

C 2 2 F 1/00 6 1 3

C 2 2 F 1/00 6 2 3

C 2 2 F 1/00 6 6 0 Z

C 2 2 F 1/00 6 6 1 Z

C 2 2 F 1/00 6 8 1

C 2 2 F 1/00 6 8 2

C 2 2 F 1/00 6 8 3

C 2 2 F 1/00 6 9 1 B

C 2 2 F 1/00 6 9 1 C

C 2 2 F 1/00 6 9 4 A

C 2 2 F 1/00 6 9 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月15日 (2015.9.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

C a を 0 . 5 ~ 1 0 . 0 原子% 含有し、残部が C u および不可避免の不純物よりなる銅合金からなり、かつ C u 素地中の C u 相結晶粒の平均粒径が、5 ~ 6 0 μ m の範囲内にあり、さらに C u - C a 系晶出物が分散していることを特徴とするスパッタリングターゲット用銅合金製熱間圧延板。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

したがって本発明の基本的な態様（第 1 の態様）によるスパッタリングターゲット用銅合金製熱間圧延板は、C a を 0 . 5 ~ 1 0 . 0 原子 % 含有し、残部が C u および不可避免的不純物よりなる銅合金からなり、かつ C u 素地中の C u 相結晶粒の平均粒径が、5 ~ 6 0 μ m の範囲内にあり、さらに C u - C a 系晶出物が分散していることを特徴としている。なお、この明細書では、連続鑄造法には、半連続鑄造法および完全連続鑄造法を含むものとして記載する。